

わが国最初期の真空管式電子計算機

登録番号	第00014号		
登録年月日	平成20年10月9日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	大阪大学真空管式計算機 一式 (ENIAC型10進演算装置及び本体)
所在地	大阪府豊中市
	大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
所有者 (管理者)	大阪大学総合学術博物館
製作者(社)	大阪大学工学部 城研究室
製作年	1950年代
選定理由	本機はわが国で最初期に開発された電子計算機である。大阪大学では終戦直後から電子計算機の研究を開始し、1950年に世界初の電子計算機といわれるENIAC型の演算装置を試作した。その延長線上で、真空管式のコンピュータの開発に着手し、本機は1959年に基本動作を確認した。本機は、日本のコンピュータ開発の先鞭をつけただけでなく、その後の研究開発に貢献した日本コンピュータ史上先駆けとなった装置である。
登録基準	一イ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	